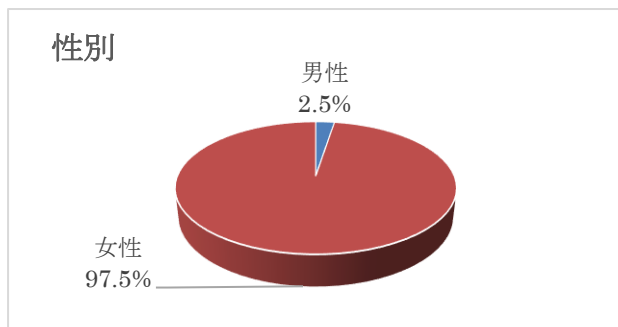


第2章 アンケート調査結果

1 回答者の属性について

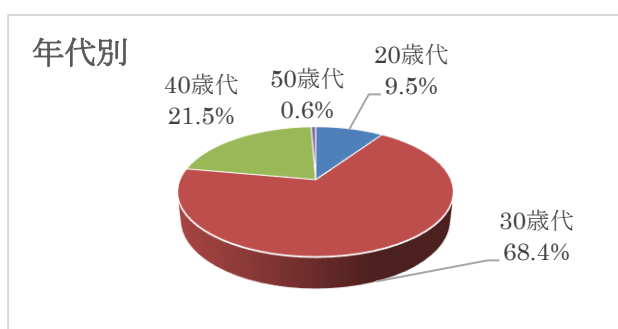
(1) 性別



回答者の性別は、男性 4 人 (2.5%)、女性 154 人 (97.5%) であった。

図 1-1 性別
N=158

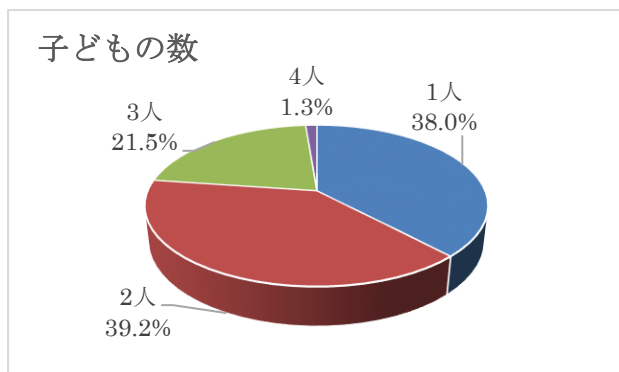
(2) 年代別



回答者の年代は、30歳代が最も多く 108 人 (68.4%)、次いで 40歳代 34 人 (21.5%)、20歳代 15 人 (9.5%)、50歳代 1 人 (0.6%) の順であった。

図 1-2 年代別
N=158

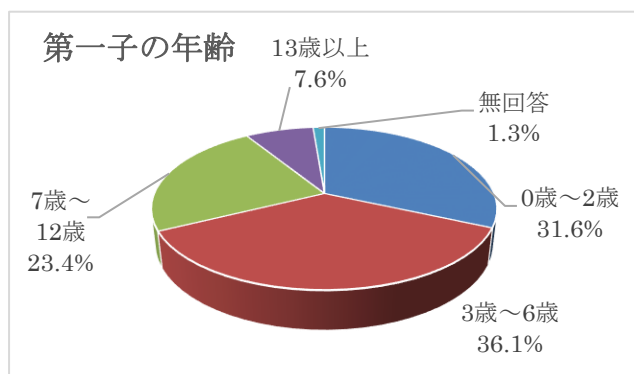
(3) 子どもの数



子どもの数は、二人が最も多く 62 人 (39.2%)、次いでひとりが 60 人 (38.0%)、三人が 34 人 (21.5%)、四人が 2 人 (1.3%) の順であった。
五人以上の人は 0 人であった。

図 1-3 子どもの数
N=158

(4) 第一子の年齢

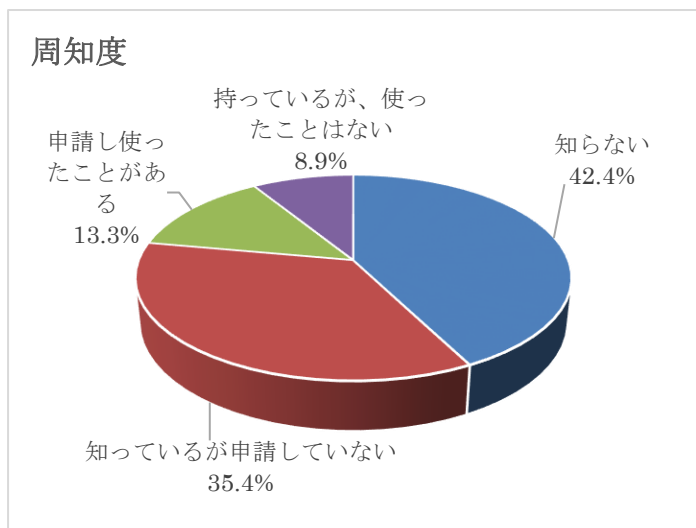


第一子の年齢は、3歳～6歳が最も多く 57 人 (36.1%)、次いで 0歳～2歳が 50 人 (31.6%)、7歳～12歳が 37 人 (23.4%)、13歳以上が 12 人 (7.6%) の順であった。

図 1-4 第一子の年齢
N=158

2 「あおり子育て応援パスポート」について

(1) 周知度



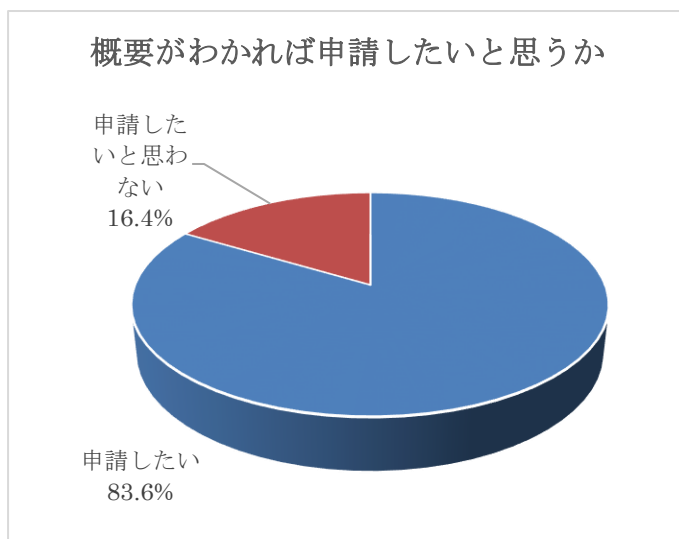
「あおり子育て応援パスポート」(以下、「パスポート」と記述する)の周知度については、「知らない」が最も多く67人(42.4%)、次いで、「知っているが、申請していない」が56人(35.4%)、「申請し、使ったことがある」21人(13.3%)、「申請し持っているが、使ったことはない」14人(8.9%)の順である。

図2-1 周知度
N=158

(2) 概要がわかれば申請したいと思うか

(1)で「知らない」の回答した方への設問(67人)

「あおり子育て応援パスポート」とは、妊娠中の方と0歳から18歳までのお子さんを育てている方が申請でき、協賛店舗で割引や、ポイント加点等の特典が受けられるカードです。青森県内だけでなく全国の協賛店で特典が受けられます。



(1)の設問で「知らない」と回答した方に対し、上記の説明文を読んで、申請したいと思うか問うところ、「申請したい」が56人(83.6%)、「申請したくない」が11人(16.4%)であった。

図2-2 概要がわかれば申請したいと思うか
N=67

(3) 周知方法

(1) で「知らない」以外の回答をした方への設問 (91人)

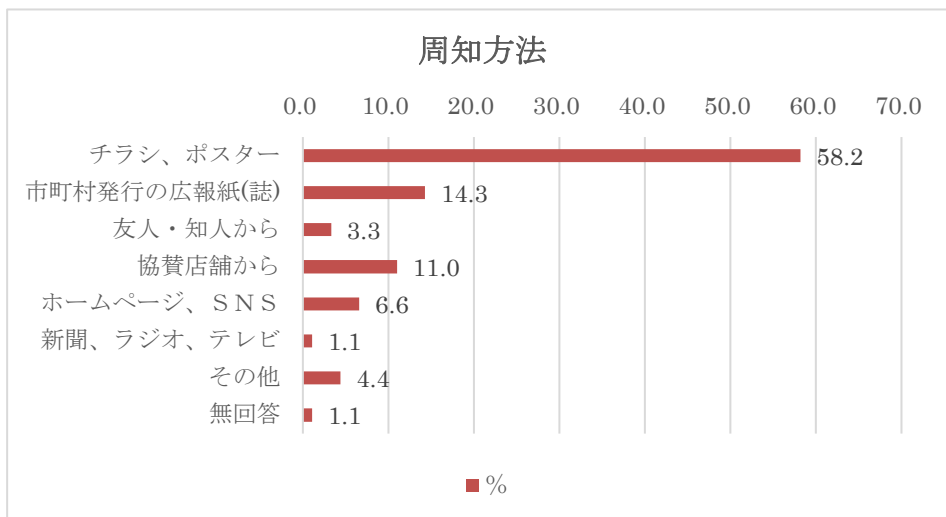


図 2-3 周知方法
N=91

「パスポート」の周知方法は、「ポスター、チラシ」が最も多く 53 人 (58.2%)、次いで「市町村発行の広報紙(誌)」13 人 (14.3%)、「協賛店舗から」10 人 (11.0%)、「ホームページ・SNS」6 人 (6.6%)、その他 4 人 (4.4%)、「友人・知人から」3 人 (3.3%)、「新聞、ラジオ、テレビ」1 人 (1.1%) の順であった。

(4) 未申請理由

(1) で「知っているが申請していない」の回答をした方への設問 (56人)

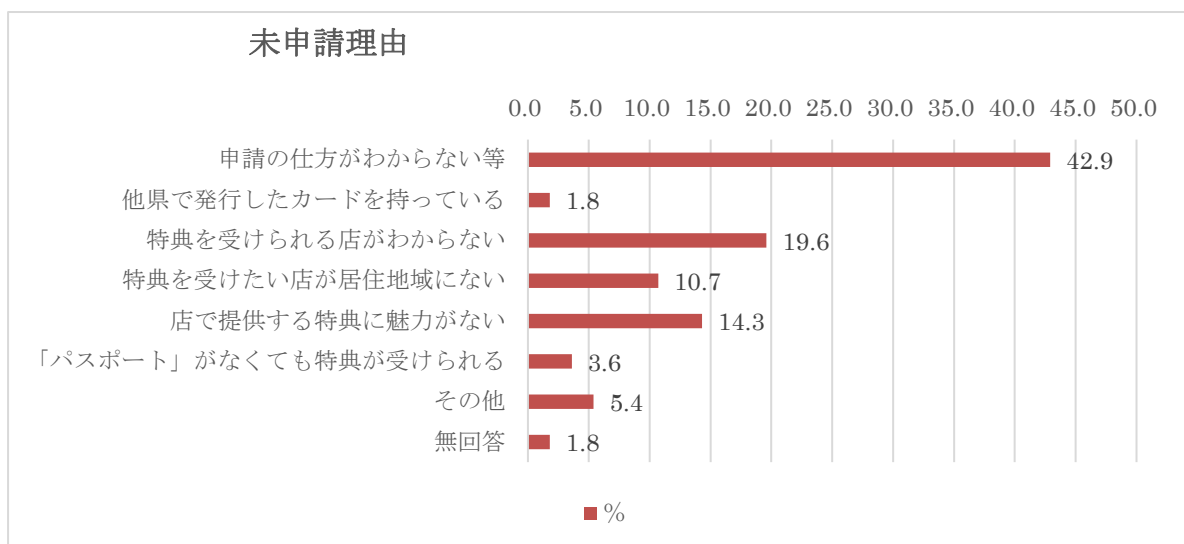


図 2-4 未申請理由
N=56

(1) の設問で、「知っているが申請していない」と回答した方へ、申請していない理由を問うたところ、「申請の仕方がわからないまたはわずらわしいから」が最も多く、24 人 (42.9%)、次いで「特典を受けられる店がわからないから」11 人 (19.6%)、「店で提供する特典に魅力がないから」8 人 (14.3%)、「特典を受けたい店が居住地域にないから」6 人 (10.7%) と続いている。

(5) 利用頻度 その1 (使用回数)

(1) で「申請し、使ったことがある」の回答をした方への設問 (21人)

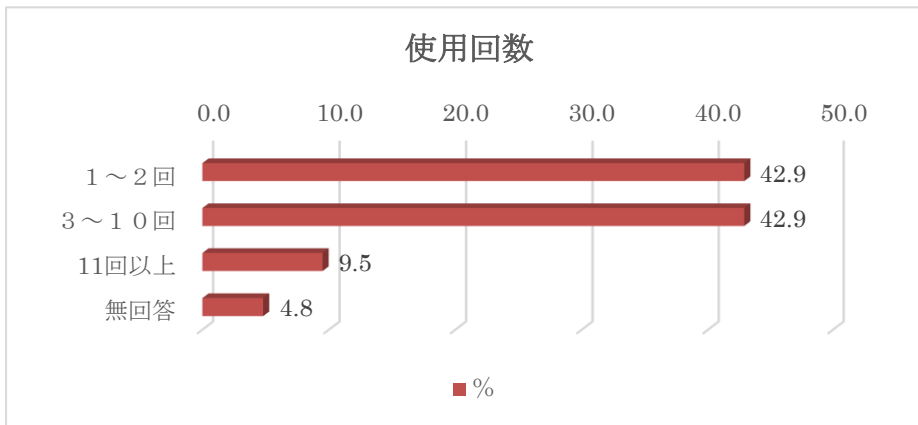


図 2-5 使用回数
N=21

(1) 設問で、「申請し、使ったことがある」と回答した方への、使用回数について問うたところ、「1~2回」と、「3~10回」が同数とともに、9人(42.9%)、次いで「11回以上」が2人(9.5%)であった。

(6) 利用頻度 その2 (特典を受けた店の数)

(1) で「申請し、使ったことがある」の回答をした方への設問 (21人)

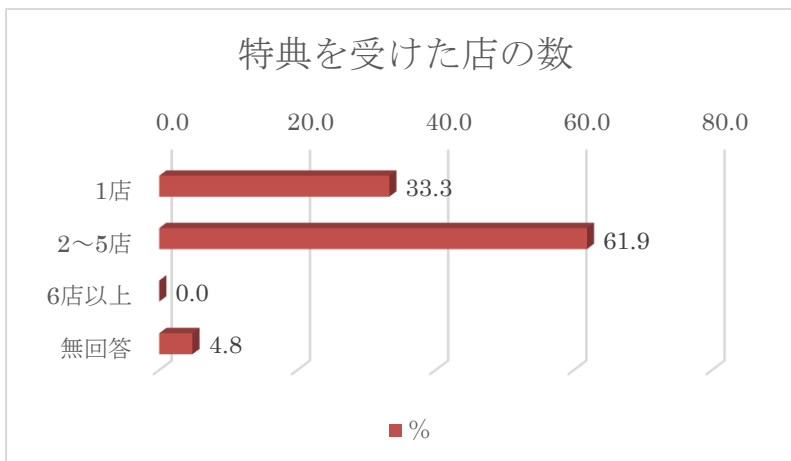


図 2-6 特典を受けた店の数
N=21

(5)と同様、「申請し、使ったことがある」方へ、「特典を受けた店の数」を問うたところ、「2~5店」が最も多く13人(61.9%)、ついで「1店」が7人(33.3%)であった。6店以上利用している人は0人だった。ただし、同一の系列店、チェーン店は1店として計上している。

(7) 未使用理由

(1) で「申請し持っているが、使ったことはない」の回答をした方への設問（14人）

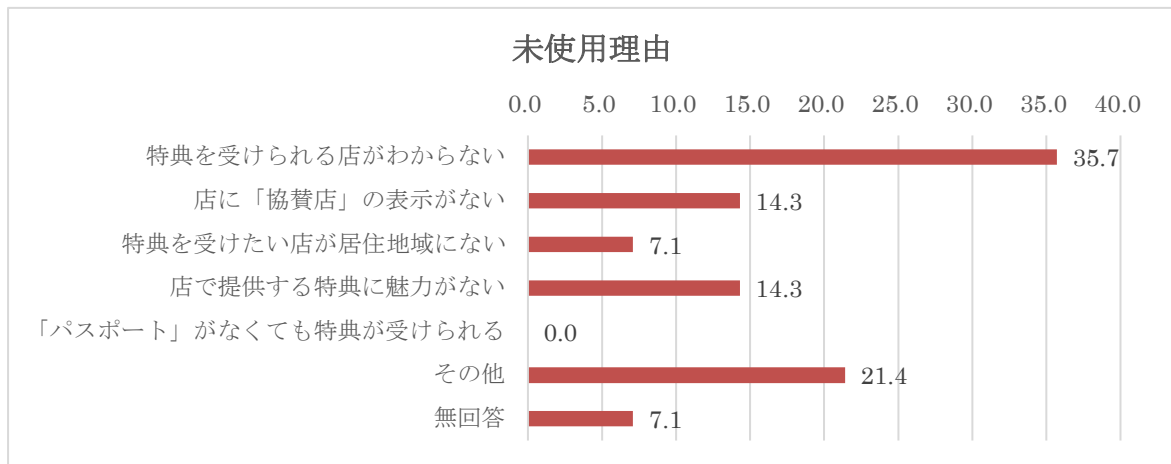


図 2-7 未使用理由
N=14

(1) の設問で、「申請し持っているが、使ったことはない」と回答した方へその理由を問うたところ、「特典を受けられる店がわからないから」が最も多く、5人（35.7%）、次いで「その他」が3人（21.4%）、「店に『協賛店』の表示がないから」、「店で提供される特典に魅力がないから」がともに2人（14.3%）、「特典を受けたい店が居住地域にないから」1人（7.1%）と続いた。

3 子育て支援設備について

(1) 子育て支援設備の利用頻度

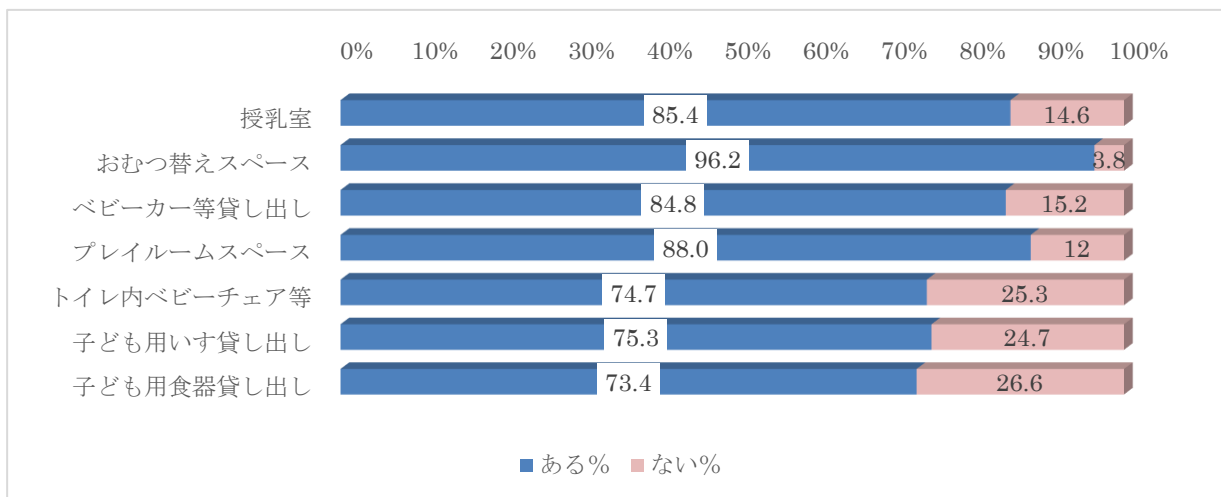


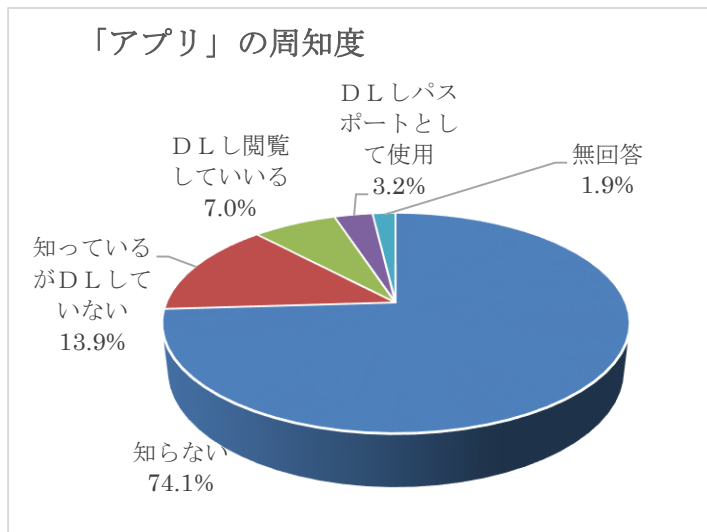
図 3-1 子育て支援設備の利用頻度
N=158

子育て支援設備について、使ったことがあるかないかを問うた。「使ったことがある」最も多い設備は「おむつ替えスペース、シート」152人（96.2%）、次いで「プレイルームスペース（遊ぶスペース）」139人（88.0%）、「授乳室」135人（85.4%）、「ベビーカー等貸し出し」134人（84.8%）、「子ども用いす貸し出し」119人（75.3%）、「トイレ内ベビーチェア等」118人（74.7%）、「子ども用食器貸し出し」116人（73.4%）と続き、いずれの設備も高い利用率を示している。ただし、

回答は「○印」か「×印」の記入を求めたが、「無記入」については「×印」とともに「使っていない」に計上している。

4 「あおり子育て応援アプリ」について

(1) 周知度

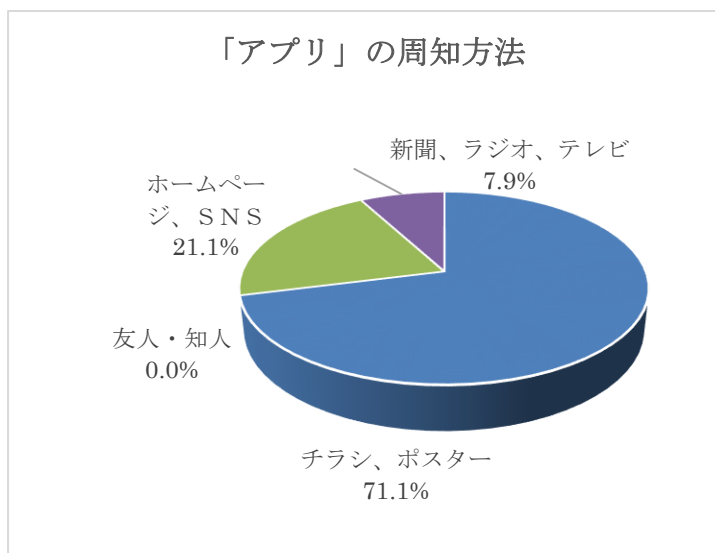


「あおり子育て応援アプリ」（以下「アプリ」と記述する）を知っているかとの問いに対する回答は、「知らない」が最も多く 117 人（74.1%）、次いで「知っているが、DL（ダウンロード）していない」が 22 人（13.9%）、「DL（ダウンロード）し閲覧している」11 人（7.0%）、「DL（ダウンロード）しパスポートとして使用している」5 人（3.2%）と続いている。

図 4-1 「アプリ」の周知度
N=158

(2) 周知方法

(1) で「知らない」以外の回答をした方への設問（無回答を除く/38人）



「アプリ」の周知方法は、「ポスター、チラシ」が最も多く 27 人（71.1%）、「ホームページ・SNS」8 人（21.1%）、「新聞、ラジオ、テレビ」3 人（7.9%）の順であった。「友人・知人から」は 0 人であった。

図 4-2 「アプリ」の周知方法
N=38

5 自由記述欄の回答の有無について

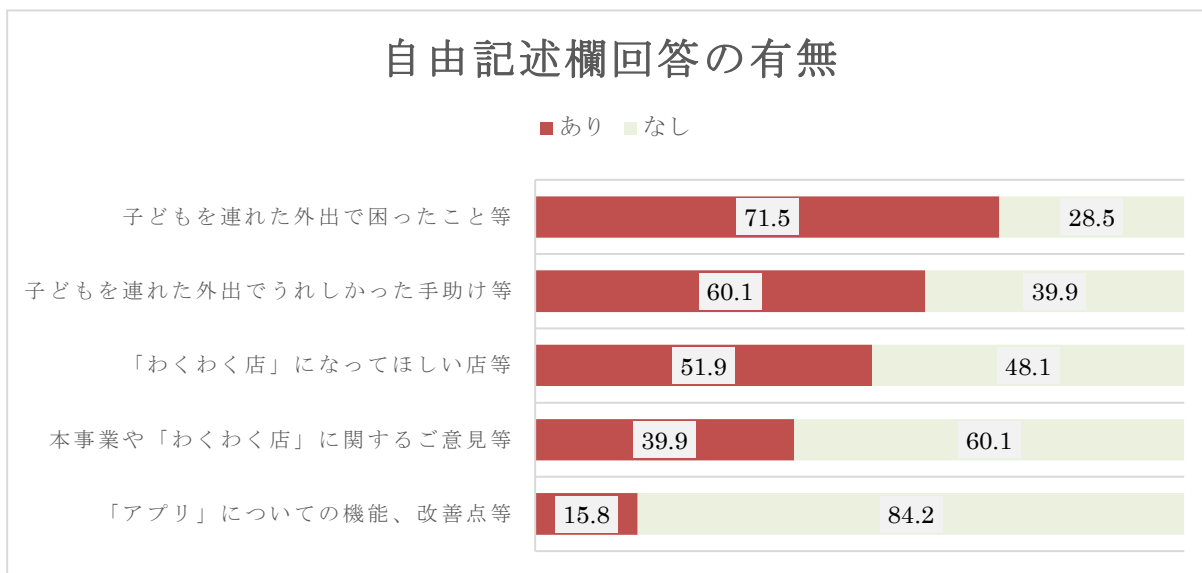


図 5-1 自由記述欄回答の有無
N=38

自由記述欄の回答の有無については、「回答あり」が「子どもを連れて外出で困ったこと等」では 71.5%、「子どもを連れて外出でうれしかった手助け等」では、60.1%、「『わくわく店』になってほしい店等」で 51.9%となっている。「本事業や『わくわく店』に関するご意見等」には、39.9%、「『アプリ』に関する機能、改善点等」には 15.8%の方が回答を寄せている。